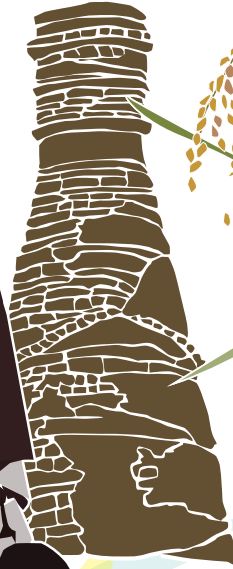


人と出会い支え合い自然とふれあう

活力ある住み良き創造都市



2015
山陽小野田市
市勢要覧

03 ごあいさつ

04 観

四季を感じ、大地の息づかいに耳を澄ます
季節ごとに、百花を愛でる

06 歓

陽光を体いっぱい浴びる
海で、山で、川で自然と親しむ

08 感

ときめき、ひらめき、かがやく
ガラスにふれる、歴史を探る

10 イベントカレンダー

12 歴史 さんようおのだ

偉人があゆんだ歴史のみち…。
山陽小野田市誕生から10年…。
今も語り継がれる「寝太郎物語」

15 山陽小野田市総合計画

人と出会い 支え合い 自然とふれあう
活力ある住み良さ創造都市

暮らしの安心・安全を守るまちづくり
市民が主役のまちづくり
うるおいのある快適なまちづくり
にぎわいと活力にみちたまちづくり
人が輝く心豊かなまちづくり

26 ガイドマップ

27 山陽小野田名産品

山陽小野田市民憲章

みんなのちかい

私たちは、先人のこころを受けとめ、
住みよいまちをめざして、
ここにちかいをたてます。

一、このまちの未来のために自ら考えます。
一、このまちの未来のために汗を流します。
そして、このまちを愛します。

(平成19年3月21日告示)

ごあいさつ



市長 白井 博文

私たちのまち山陽小野田市は、平成17年(2005年)3月22日、小野田市と山陽町が合併して誕生しました。本州の西端、山口県の南西部に位置し、下関市、宇部市、美祢市と境を接する本市は、瀬戸内海の穏やかな海と緑あふれる山々に囲まれた自然豊かな環境に包まれています。また、市内には市を東西に横断する山陽自動車道(小野田IC、埴生IC)、山陽新幹線(厚狭駅)があり、交通の要衝地という顔も合わせ持っています。

本市は、「市民の安心・安全の確保」、「まち全体の活力」を基本とし、子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる心豊かなまちづくりを目指した「第一次山陽小野田市総合計画」を定め、その将来都市像「人と出会い 支え合い 自然とふれあう 活力ある住み良さ創造都市」の実現に向けて、市民のみなさんと協働によるまちづくりに取り組んでいます。私の市政運営に当たる基本姿勢である「公平公正、市民のために、市民とともに」。この確固たる信念の下、諸施策の推進にまい進してまいります。

このたび作成しました市勢要覧は、本市のまちづくりの目標や魅力などを、市内外の多くの方々にお伝えするために作成いたしました。本誌を通じて山陽小野田市をご理解いただき、市政に対してのお力添えをいただければ幸いです。



観



TOPICS 花いっぱい運動

山陽小野田市では花づくりを通して、ふれあいとうるおいに満ちたあたたかいまちづくりを目指し、「花いっぱい運動」を展開しています。

厚陽公民館（厚陽地区緑と花の推進協議会）とみつば園（障がい者支援施設）でサルビア、マリーゴールドなどの苗を育てて、希望者に配布しています。

毎年、秋には花壇コンクールを実施して、「花いっぱい運動」に取り組んでいる市民、団体等の表彰を行っています。

この運動を通して、山陽小野田市が花いっぱいの華やかで明るいまちになることを願っています。



四季を感じ、大地の息づかいに耳を澄ます

周りを海と山で囲まれた山陽小野田市には、自然の景観を生かした公園が多く整備されています。

市の南部に位置する「竜王山公園」。ここからの眺めは「せとうち夢海道 50 景」にも選ばれており、頂上にある展望台からの 360 度のパノラマ風景は圧巻です。麓に広がる海岸からの夕陽は、「日本の夕陽百選」にも選ばれています。夜のとばりが下りると、「日本の夜景 100 選」「日本夜景遺産」にも認定された、山陽小野田市、宇部市の工場群の灯りが訪れた人を魅了します。

また、春には 1 万本の桜が山全体を薄紅色に染めるほか、四季折々の山野草も楽しみ、初夏のヒメボタル、爽秋のアサギマダラといった貴重な生き物にも出会うことができます。



季節ごとに、百花を愛でる

ロマンチックな江汐湖を中心に、豊かな植生と多くの野鳥や昆虫に恵まれた「江汐公園」。春には 5 万本のコバノミツバツツジをはじめ、ヒラドツツジ、キリシマツツジ、サツキツツジなどがみごとに咲き誇ります。園内では、あじさい園やばら園など四季折々の花が見られ、その見ごろに合わせて行われるイベントも魅力です。

古くから市民の散策の場として親しまれている「物見山総合公園」。公園中心部には花菖蒲園があり、6 月上旬から中旬にかけて、20 種 6 千本のハナショウブを楽しむことができます。

ほかにも、市内には多数の公園が点在し、石炭・化学工業のまちとして発展しながらも、自然との共生を忘れてはいませんでした。



歓



TOPICS | 山陽オート

山陽本線埴生駅前にある「山陽オートレース場」。オートレース事業は、地域福祉や体育振興に寄与することを目的に、公営競技として運営しています。オートレースの収益は、公共施設の改修などに充てられています。



レース場には、観戦スタンドや大型モニターなどを備え、競走路は1周500m。このレース場を利用したまちづくりの一環として、走路を解放してのマラソン大会やカート大会などを開催しています。



陽光を体いっぱい浴びる

豊かな自然に囲まれた山陽小野田市では、アウトレジャーは欠かすことはできません。周防灘に面し竜王山の麓に広がる「きららビーチ焼野」と、竜王山の中腹にあり瀬戸内海を一望できる「竜王山公園オートキャンプ場」。ビーチでは海水浴やマリンスポーツが楽しめるほか、レストランが隣接しています。キャンプ場は西日本最大級のサイト数を誇り、トレーラーハウスやキャンプセンター、大型遊具、展望台など設備が充実し、家族で1日中楽しめる空間です。

また、焼野海岸にある宿泊研修施設「きらら交流館」は、和・洋室の宿泊室や研修室のほか、露天風呂を備えたトロン温泉もあり、ふれあい・交流の場として多くの人に利用されています。



海で、山で、川で自然と親しむ

緑あふれる竜王山や松嶽山、とうとうと流れる有帆川や厚狭川、鏡のように穏やかな周防灘。山陽小野田市には、豊かな自然を楽しむ空間が数多く残っています。

また、市内にある観光農園では、ぶどう狩りやいちご狩りなどが楽しめます。



山陽小野田市には、自然の地形を生かした変化に富むゴルフ場が6場あります。新幹線駅や高速道路からのアクセスも良好で、市内外から、多くのプレーヤーが訪れます。



感



TOPICS 現代ガラス展

「セメント」に代表される窯業のまちとして発展してきた山陽小野田市。

新しい市の文化を創造し、全国へ発信するために、本市出身の現代ガラス作家である故竹内傳治氏と窯業の一つである「ガラス」に注目し、平成13年に第1回「現代ガラス展」を開催しました。以後3年に1度開催している現代ガラス展も平成27年には6回目を迎え、今では若手作家の登竜門と呼ばれるまでになりました。



第5回 大賞受賞作品



ときめき、ひらめき、かがやく

優れた芸術や文化は、その人の人生に潤いを与え、心を豊かにしてくれます。芸術文化に触れることで“ときめき”，自分もやってみよう“ひらめき”，そしてその活動を始め“かがやく”。

山陽新幹線厚狭駅前にある「文化会館」は、山陽小野田市の芸術文化の殿堂として、様々なジャンルのコンサートや文化行事などを開催し、芸術文化の振興や普及、子どもたちの豊かな感受性の育成を行っています。

文化会館大ホールは、優れた音響設備を有する県内屈指の音楽ホールです。毎年、音楽家のリサイタルや伝統文化などの自主文化事業を実施し、普段、触れることの少ない芸術文化を市民に提供しています。



ガラスにふれる，歴史を探る

きららビーチ焼野海岸沿いにある「きららガラス未来館」は、山陽小野田市のガラス文化の発信拠点で、体験型の文化施設です。館内には、ガラス作品を制作するための部屋や多目的室が整備され、吹きガラスやサンドブラストなどの体験や講座が楽しめます、ガラスの魅力を肌で感じることができます。

また、きららガラス未来館をはじめ、市内各所にガラス作家の作品を多数展示しています。マップ片手に、ガラス文化の薫る山陽小野田市を散策することもできます。

古代の土器から民俗資料まで、山陽小野田市の歴史を探ることができる「歴史民俗資料館」。開作の歴史、市発展の原動力となったセメント工業や製陶の発展、石炭産業なども紹介しています。



さんようおのだ イベント

山陽小野田市の伝統、自然、
 活気を感じることができる数々の
 行事・イベント。

市民は、行事・イベントへの参加を
 通して、まちの魅力を再確認し、
 一体感の醸成や躍動感あふれる
 まちづくりへとつなげていきます。



かがく博覧会



やけの美タフェスタ



江汐公園つつじまつり



子持御前まつり



若山公園さくらまつり



竜王山さくらまつり



高校サッカーフェスティバル



「岩崎寺」県指定有形文化財の一般公開



水仙まつり



厚狭秋まつり (古式行事 / 市指定無形民俗文化財)



お祝い夢花火



あじさいまつり



ちょうちん七夕フェスティバル

Event Calendar | イベントカレンダー

1月	上旬	消防出初式
2月	18日	「岩崎寺」県指定有形文化財の一般公開
3月	上旬～中旬	厚狭ねたろうの里 おひなさまめぐり
	第1土曜日	水仙まつり
	第1日曜日	ふるさと風あげフェスティバル
	上旬	少年サッカーフェスティバル
	下旬	高校サッカーフェスティバル
	21日	椿まつり
4月	上旬	若山公園さくらまつり
	上旬	竜王山さくらまつり
	中旬	江汐公園つつじまつり
	19日	子持御前まつり
	29日	寝太郎まつり
5月	第2日曜日	有帆市まつり
	下旬	復活！住吉まつり
6月	上旬	寝太郎の里ほたるまつり
	上旬	有帆ホテルまつり
	第3日曜日	あじさいまつり
7月	中旬～下旬	ザ・アドベンチャーワールド
	第3日曜日	やけの美タフェスタ
	25日	厚狭花火大会
	下旬	ちょうちん七夕フェスティバル
	下旬	埴生祇園まつり
8月	上旬	ふれあいガラスフェスタ
	7日	おのだ七夕花火
9月	下旬	かがく博覧会
10月	下旬	お祝い夢花火
	下旬	市民カーニバル
11月	上旬	秋の駅前ふれあいまつり
	第2日曜日	厚狭秋まつり
	中旬	SOS健康フェスタ
	下旬	農林水産まつり
12月	中旬～1月	市内各所イルミネーション

※都合により変更・中止になる場合があります。



椿まつり



消防出初式



ふるさと風あげフェスティバル



イルミネーション



寝太郎まつり



復活！住吉まつり

厚狭ねたろうの里おひなさまめぐり

市民カーニバル



山陽小野田市の偉人たち。

彼らが残したものは、今もなお、
私たちの身近にあり、
私たちを見守り続けている…。

偉人があゆんだ

女子教育の先駆者・毛利 勅子^{もうり ときこ}

文政2年(1819年)、徳山藩主毛利広鎮の七女として生まれた勅子は、天保10年(1839年)、厚狭毛利家10代元美の正室となりました。明治維新後、女子教育の必要性を説く勅子は、明治6年(1873年)、船木区長である兼重慎一とともに船木女児小学を創設。自ら教壇に立ち、明治12年(1879年)に亡くなるまで女子教育に身を捧げました。その後、船木女児小学は、明治42年(1909年)に、現在の厚狭高等学校南校舎の地に移転されました。

厚狭毛利家と教育の歴史

1 厚狭毛利家墓所と洞玄寺

厚狭毛利家は、毛利元就の五男元秋を祖とし、後に元就の八男元康が継ぎ、関ヶ原の合戦後、厚狭郡に1万500石を拝領し、その後、元康の子元宣が家督を相続し、厚狭郡末益村(現在の山陽小野田市郡)に居館を構えたことで、厚狭毛利と呼ばれるようになりました。菩提寺である洞玄寺の裏山には厚狭毛利家の墓所があり、元康以降13代とその一門の墓碑が残されています。勅子の墓もその中に並び、厚狭毛利家の栄枯盛衰が偲べれます。同寺にある石字経王塔は墓所とともに市の文化財に指定されています。

2 3 厚狭高等学校

船木女児小学は、勅子の名前にちなんで德基高等学校と名を変え、明治42年(1909年)に、現在の厚狭高等学校南校舎の地に移転し、戦後、厚狭高等学校となりました。厚狭高等学校北校舎には勅子の書や琴、書見台などの遺品が残されています。

◆ 山陽小野田の歴史人 ◆

[幕末の志士] 来嶋 又兵衛

文化14年(1817年)旧西高泊村高須に生まれる。幼名を亀の進と言ひ、少年時代をこの地で過ごす。20歳で大津郡俵山(現在の長門市)の来嶋又兵衛政常のむこ養子になり、後に又兵衛政久と改名。元治元年(1864年)の禁門(蛤御門)の変で、長州藩の急先峰として出兵し、薩摩兵との激戦の末戦死。明治24年(1891年)正四位が贈位される。



来嶋又兵衛生誕の地

[実業家] 豊永 長吉

天保2年(1831年)長府藩に生まれる。明治22年(1889年)日本密製造会社(現日産化学工業株式会社)を設立する。石炭の産出地や塩田にも近く、かつ製陶業にも発達していたこと、さらには笠井順八翁の仲介もあり、設立場所を現在の硫酸町に決定する。



[政治家] 青木 周蔵

天保15年(1844年)小埴生に生まれる。ドイツ留学で政治を学んだ後、帰国して外務省に入り、伊藤博文内閣で外務次官、山縣有朋内閣と松方正義内閣で外務大臣を務めるなど、明治政府の要職に就く。開国間もない日本を世界の国々と対等にするため、不平等条約の改正に力を注ぎ、日本の外交に大きな足跡を残す。



青木周蔵生誕の地

歴史のみち…。

山陽小野田市の礎を築く・笠井 順八翁^{かさい じゅんぱちおう}

天保6年(1835年)萩城下に生まれ、笠井家の養子となった順八翁は、明治14年(1881年)に民間初のセメント製造会社を設立し、小野田新開作に工場を建設。地域と会社の発展は不可分の理念のもと、事業を発展させ、現在の山陽小野田市の礎を築きました。セメント事業のほかにも多方面にわたりまちの発展に尽くした翁は、唯一の名誉市民となっています。

セメントと炭鉱の歴史

4 国の重要文化財 小野田セメント徳利窯

明治16年(1883年)に初めてセメントを焼成した窯で、国内に唯一現存する貴重な産業遺産です。上部に煙突があり、赤レンガで作られた形が徳利に似ていることから徳利窯とも呼ばれています。太平洋セメント(旧小野田セメント)株式会社の工場敷地内にあり、見学することができます。

5 住吉神社

明治32年(1899年)萩の住吉神社から勧請し、小野田セメント株式会社の鎮守社として建立されました。境内の丘の上には、笠井順八翁の徳を称えて建てられた翁の像があり、今もまちの発展を見守っています。

6 国の登録有形文化財 小野田セメント山手倶楽部

旧小野田セメント株式会社の第4代社長・笠井真三氏がヨーロッパ留学から帰国する際、イギリスからコンクリートブロックの型枠を持ち帰り、大正3年(1914年)に完成させた洋館で、大正時代を代表する貴重なブロック建築です。



毛利勅子



山陽小野田市誕生から10年…。

- | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>2005
平成17年</p> <p>小野田市と山陽町が合併し山陽小野田市誕生。初代市長に白井博文氏当選。「対話の日」「まちづくり市民会議」スタート。</p> | <p>2006
平成18年</p> <p>市章デザイン、市の木、市の花決定。山口東京理科大学と連携協定締結。「生活改善・学力向上プロジェクト」スタート。県立おのだサッカー交流公園オープン。「国民文化祭・やまぐち2006」開催。</p> | <p>2007
平成19年</p> <p>山陽オートレース事業包括的民間委託開始。市民憲章制定。「幼・保・小・中」生活改善・知能向上教育特区認定。総合計画「基本構想」策定。セメント製造関連遺産・窯業関連遺産が近代化産業遺産に認定。</p> |
| <p>2008
平成20年</p> <p>国道2号 厚狭・埴生バイパス開通。第一次総合計画策定。おのだサンパークリニューアルオープン。ファミリーサポートセンター開設。</p> | <p>2009
平成21年</p> <p>都市計画マスタープラン策定。豪雨災害。議会インターネット中継開始。</p> | <p>2010
平成22年</p> <p>山陽小野田名産品の認定開始。局地的集中豪雨による厚狭川氾らん。竜王山公園が日本夜景遺産に認定。第1回かがく博覧会開催。「女性の日」創設。</p> |
| <p>2012
平成24年</p> <p>宇部・山陽小野田消防組合発足。厚狭小中学校新校舎完成。「男女共同参画都市」宣言。</p> | <p>2013
平成25年</p> <p>コンビニ収納開始。市議会議員の定数に関する賛否を問う住民投票実施。「コンパクトなまちづくりモデル事業」指定。志んはし(厚狭新橋)完成。</p> | <p>2014
平成26年</p> <p>埴生の機雷撤去。山陽総合事務所解体・厚狭複合施設の整備開始。新市民病院での診療開始。小野田湾岸道路(有帆川大橋)開通。</p> |
| <p>2015
平成27年</p> <p>市誕生10周年記念事業「市民ふれあいの集い」開催。テーマメッセージ響き合う人・まち・10年創造未来へ新呼吸</p> | | |

そして未来へ向かって…。

今も語り継がれる「寝太郎物語」

～厚狭の「千町ヶ原」をみずみずしい水田に～

灌漑により、村おこしを成し遂げたと伝えられる厚狭の寝太郎。厚狭駅周辺や厚狭川河畔には、この寝太郎ゆかりの地や遺跡が、今でも多く残っていて、伝説とともに地元の人々に大切にされています。



むかしむかし厚狭の里にもものぐさな若者がおりました。毎日毎日寝てばかりいるので、村のみんなから「寝太郎」と呼ばれ笑われていました。村一番のお金持ちで庄屋のお父さんも困り顔。それでもおかまいなく寝太郎は三年三月、まるまる寝て暮らしました。ある日ひょっこり起き上がった寝太郎は、お父さんに千石船を作ってくれと頼みました。船ができあがると、今度は船いっぱいのお金を買って来てと頼みます。わらじを買って来てと頼みます。わらじを千石船に積むと次は達者な船子を買って来てと頼みます。わけもわからずいいなりになったお父さんを残し、寝太郎の乗った千石船はどこへとも知れず厚狭川を下っていきました。それから何日たってもさっ

ぱり音沙汰がないので、村人たちはあらぬうわさをしておりました。寝太郎は荒れる海を渡り、遠く佐渡島へ向かっていたのです。やっと佐渡島に着いた寝太郎は、新しいわらじと古いわらじをただで取り換えてやると島じゅうふれ歩き、たくさんのわらじを集めました。厚狭を出てから40日たった日、寝太郎の千石船が帰ってきました。寝太郎はお父さんにたのんで、大きな桶を急いで作り、持って帰ったどろんこのわらじを洗わせました。すると桶の底にピカピカ光る金の砂が山盛りになっていました。寝太郎は砂金を売ったお金で川を堰き止め、灌漑用水路を作りました。おかげで荒地だった土地が豊かな水田に変わりました。



活力ある住み良さ創造都市

人と出会い 支え合い 自然とふれあう



暮らしの安心・安全を守る まちづくり



安心して子どもを生き育てることができる環境づくり

- (1)次世代育成支援の充実
- (2)仕事と子育ての両立支援
- (3)母子保健対策の充実

高齢者、障がい者が安心して自立できる環境づくり

- (1)高齢者福祉の充実
- (2)介護サービスの充実
- (3)障がい者福祉の充実
- (4)地域福祉の充実
- (5)社会保障の充実

生涯を通じた健康づくり、地域医療体制の整備

- (1)健康づくりの推進
- (2)地域医療の充実

市民が安心して暮らせる環境づくり

- (1)消防体制の充実
- (2)救急・救助体制の充実
- (3)防災体制の充実
- (4)市域保全の充実
- (5)交通安全と治安の確保
- (6)消費者の保護と意識啓発

市内に17か所ある保育所（平成27年3月現在）



認知症サポーター養成講座

思いやり駐車場（市役所正面玄関前）

防災訓練



交通安全教室

市民誰もが住み慣れた地域で、ゆとりや、やすらぎを感じながら幸せな生活を送るためには、安心して暮らせる福祉社会の実現を図るとともに、安全な暮らしを確保する必要があります。

そこで、子育て環境の整備や高齢者、障がい者が安心して自立できる環境づくりと市民病院を核とした地域医療体制の充実を図ります。また、災害に強いまちづくりや、消防・防災体制、防犯・交通安全対策等の充実した安全な地域づくりを進めます。



新市民病院（平成26年度完成）

市民が主役のまちづくり



市民が主役の地域づくり

- (1)地域コミュニティの振興
- (2)市民活動の活性化
- (3)市民と行政との協働のまちづくり

人権尊重のまちづくり，男女共同参画社会の形成

- (1)人権尊重のまちづくりの推進
- (2)男女共同参画社会の形成

効率的で，健全な行財政基盤づくり

- (1)効率的な行政運営の推進
- (2)電子自治体の推進と行政サービスの向上
- (3)財政運営の健全化
- (4)広域連携の強化

ふるさと岡あげフェスティバル



コミュニティFMを利用した
市政情報の発信

人権の花運動

夜間延長窓口サービス



「女性の日」を創設
(平成22年度)



市民団体によるイベント

地方分権の気運が高まる中、市民の自主的・自発的な活動が次第に活発になり、従来の行政主導から市民と行政が対等・平等の関係で適切な役割分担で協力し合う「協働のまちづくり」が求められています。

一方、行財政を取り巻く環境が極めて厳しい中、より一層重点的、計画的な財政投資と簡素で効率的な行政執行を基本とする行財政運営が重要となっています。

そこで、市民の自主的な活動を支援し、まちづくりへの参画を図るなど、市民が主役の地域づくりを推進するとともに、人権尊重のまちづくりや、男女共同参画社会の形成を図ります。また、行財政改革により効率的で、健全な行財政基盤づくりを進めます。



男女共同参画社会への想いを込めた一行詩を募集して発表する「女と男の一行詩」

うるおいのある快適なまちづくり



自然環境の保全と活用

- (1)自然環境保全意識の高揚
- (2)自然環境の保全と適正活用

誰もが快適に暮らせるまちづくり

- (1)良質な居住の確保
- (2)公園・緑地の整備・保全
- (3)上水道の整備
- (4)下水道の整備
- (5)生活交通の充実
- (6)美しいふるさと景観づくり

資源循環型社会のまちづくり

- (1)省資源・循環型ライフスタイルへの転換
- (2)環境衛生の向上
- (3)環境保全対策の推進

厚狭川

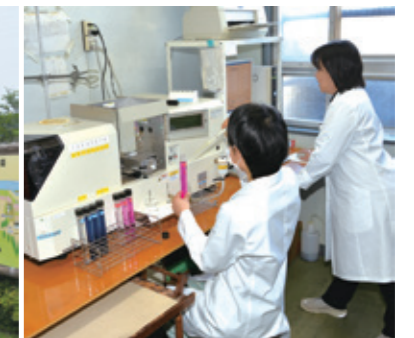


厚狭川河畔寝太郎公園「ゆめ広場」

有帆川



随光川



環境調査センターでの水質調査

リサイクルプラザ「タルちゃんプラザ」



新ごみ処理施設
(平成 26 年度完成)

市民が生活の中で「住み良い」と感じる地域づくりを進めるには、人に憩いとうるおいを与える美しい自然環境の保全と快適な生活環境の基盤づくりが必要です。

そこで、快適な生活環境の整備を進めるとともに、自然環境の保全と活用、ごみの減量とリサイクルなど環境への負荷の少ない資源循環型社会の構築を進めます。

デマンド型交通の運行(予約型乗合タクシー)



小野田湾岸道路のモニュメント

にぎわいと活力にみちたまちづくり



多様な働く場の確保

- (1)産学公連携による新産業の創出
- (2)労働環境の向上

魅力と活力ある産業の振興

- (1)工業の振興
- (2)商業・サービス業の活性化
- (3)農業の振興
- (4)林業の振興
- (5)水産業の振興
- (6)地場流通の推進
- (7)観光・交流の振興

活気にみちた往来の盛んなまちの基盤づくり

- (1)適正な土地利用の推進
- (2)広域交通体系の整備
- (3)港湾整備の促進
- (4)高度情報化への対応
- (5)国際交流・地域間交流の推進
- (6)定住促進

小野田港



中学生海外派遣事業
(姉妹都市：オーストラリア モートンベイ市)

小野田・楠企業団地



小野田駅前街なかフリーマーケット 梶漁港日曜朝市

山陽新幹線 厚狭駅



開業 100 周年を迎えた
小野田線

本市の発展を支え、活力と活気を生み出す源は産業活動にあります。また、若者の定住に配慮しながら、にぎわいのある市街地をつくり出すことが求められています。

そこで、本市の経済的活力を持続的に成長させていくために、それぞれの産業が競争力を高めるとともに、新しい産業と働く場を創り出すなど、内発的で創造的な産業振興を進めます。また、活気にみちた往来の盛んなまちづくりを進めるために、市街地の形成や広域交通網の整備を推進します。

人が輝く心豊かな まちづくり



意欲のある人づくり

- (1)幼児教育の充実
- (2)義務教育の充実
- (3)高等学校・高等教育機関との連携・活用

家庭や地域社会の教育力の向上

- (1)生涯学習推進体制の充実
- (2)青少年の健全育成

多彩な芸術文化とスポーツの振興

- (1)文化財の保護・継承
- (2)芸術文化の振興
- (3)スポーツ・レクリエーションの振興

かがく博覧会



小学生の田植え体験



子ども文化ふれあい事業

山口東京理科大学



厚陽小中学校

古式行事
(市指定無形民俗文化財)



プロサッカーチーム
「レノファ山口」応援都市

現代は変化の時代であり、それらに的確に対応し、市民一人一人が生涯にわたって自発的に多種多様な学習活動を行うことで、その資質・能力の向上や自己の充実を図る「生涯学習」の実践が求められています。

そこで、特に、自ら学ぶ力や豊かな人間性を育むために、幼児教育や学校教育を充実させ、さらに社会教育の振興や各種教育施設の整備等による教育環境の充実を図ります。また、家庭・学校・地域が一体となった取組や青少年の健全育成、芸術・文化やスポーツの振興を推進します。

山陽小野田市 ガイドマップ



山陽小野田 名産品

山陽小野田市を代表する逸品が勢揃い。

山陽小野田市内で製造、加工、または生産された商品で、山陽小野田名産品推進協議会が審査・認定した自慢の商品です。

(平成27年3月現在)

龍王山 (竜王黄金の会) 永山酒造(名)	米焼酎 寝太郎43度 永山酒造(名)	山ロワイン Asagi-浅葱- 永山酒造(名)	大吟醸 山猿 斗瓶取り 永山酒造(名)	せめんだる (有)つねまつ菓子舗
ごろり寝太郎さん (株)幸月堂	毛利公 (株)幸月堂	夜でも厚狭 (株)幸月堂	BUCHI スティックケーキ (有)みつや・トロアメゾン	パイまんじゅう「ありがとう」 (有)みつや・トロアメゾン
ポンポン菓子ぼんげんこつ ほりうち(株)	ポンポン菓子ぼんてんさい ほりうち(株)	縁起焼 縁起焼 小野田店 竹まる	海峡物語 西海食品(株)	雷びし醤油海苔 縄田雅海苔(株)
そのまんま干しほり 山口県漁業協同組合高泊支店	ふく白子とうふ 山陽食品工業(株)	粒うに 中村うに商店	高原牧場ハム (株)ジー・テイスト	ぶちまイチゴ紅ほっぺジャム (株)花の海
わさびしょうゆ漬 民繁正信	わさび漬 民繁正信	完熟いちご (株)花の海	おのだネギ三昧 小野田ネギ生産部会	目汁 (株)みちしお
山口県産活車海老 小野田水産(株)	寝太郎人形 加納商店	帆布かばん自分サイズオーダー できる手作りマザーズバッグ (株)宇都宮帆布工房	めくもりのある手づくり 木製品三輪車 自然派木工房 木洩木	

問い合わせ先：山陽小野田観光協会 (☎ 0836-82-1313) <http://sanyoonoda-kanko.com/>





姉妹都市「秩父市」



姉妹都市「モートンベイ市」



市の木「クロガネモチ」



市の花「ツツジ」



山陽小野田市章

山陽小野田市の「山」と「小」の融合で、全体が地球と人の和をかたどり、「心豊かで潤いと活力に満ち、自然と共生した住みよいまち」をめざし、未来への飛躍と安定、市民の一体感を象徴している。

山陽小野田市市勢要覧 2015

- 発行 / 山口県山陽小野田市
- 発行年月 / 平成27年3月
- 企画・編集 / 総務部総務課

■山陽小野田市役所

〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目1-1
 TEL 0836-82-1111(代)
 FAX 0836-83-2604
<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/>